平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

市政	市安力	市営墓地造成事業	会計	墓地	事業	事業No.	322	施策順No.	45-016
事務事業名		呂 峚 地 坦 八 尹 未	事業種別	政策・	その他	予算科	目	1-1-2-1	0-1
政	策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり				課等名	3	環境	果
施	策	45 居住基盤の向上	事業期間	開始	14	終了			

1 事業の目的

		・飯田市内に居住の市民及び飯田市に本籍のある市営墓地の使用希望	2者						A:十分達成 した B:どちらか といえば達
	対象	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	成した	
事業の目	誰、何に	墓地の使用希望者数(平成14年調査実施)	2750	2750	2750	2750	2750 といえI きてない D:ほと人 達成で	C:どちらか といえばで きてない D:ほとんど	
かは「対 象」を「意		市営管理の霊園カ所数	4	4	4	4		達成できて いない	
図」した状態にする		市営墓地を希望する人のための墓地を整備する。							
ことです	意図 対象を	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度 実績	20年度 実績	21年度 実績	22年度 目標	22年度 実績	23年度 目標	目標達成度
	どう恋	市営霊園を購入した人数/市営霊園で整備された区画(売り出し区画数)(%)累計	100	96.6	90.7	100	76.8		C
		西部霊園の整備済聖地数(供給数)/西部霊園整備予定数(%)	14.1	19.5	19.5	24.9	24.9		
に対する振り返	- 大村る優別返り 皮質的事業のみ評 22年度において造成した聖地が32区画売れ残った。造成と募集とパランスを考える時期が来た。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

墓地経営は地方公共団体が経営することが責務となっている。桐林・矢高・柏原の霊園が満杯となったため、16年度より西部霊園の整備に着手した。

- 1 西部霊園の新設(554区画を順次実施) 2 16年度から19年度までに78区画、20年度から22年度までに60区画の整備完了 現在138区画 3 地元要望であがっている道路整備の実施

事業の制度 (仕組み)説明

	事業内容	名称	活動量·単位
22年度 事業内容	1 西部霊園整備 30区画を整備	1 整備済聖地数	1 30区画
23年度 実施計画	1 西部霊園整備 30区画を整備 2 西部霊園に四阿1基を建築 ※合葬式墳墓と同様に常時(随時)募集とする。22年度に32区画売れ残ったため、需要と供 給のバラン スが崩れた。 西部霊園の聖地募集については、随時募集に変更する。(平成23年10月1日)	1 整備済聖地数	

3 事業コスト

		(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額		市営霊園永代使用料
	性	国庫支出金					
_	定	県支出金				特定財	
争	財	起債				源内银梯	
事業費	源	その他	6, 324	6, 232	7, 500	訳、補 足事項	
~	—f	般財源					
		計 (A)	6, 324	6, 232	7, 500		
	正規職員所要時間						
	臨時職員等所要時間						
	人	件費計 (B)		0			
		トータルコスト A	+B	6, 232			

4 事業に対する市民や議会の意見

4 学来に対する印広で醸団の思見 墓地使用希望者からの空き墓地の問合わせが頻繁にある。 抽選会への希望者が多数ある。 共同墓の設置について議会から要望意見があり、設置の答弁がなされている。 22年度の売れ行きが特に悪く、32聖地の区画が残った。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革 の取組区分	【記載不要】	具体的な 取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額 (千円)	【記載不要】	効果額説明(算 出根拠)、特殊要 因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年		Hn 40 4	17 /T						
6 前期4年	(国)()				・ 車業老の生に	舌・事業に必要な基	般が軟		
上位の 施策への 結びつき	立施策		ij. ら	C. III 13 16 14 14	、事業有の生命	は、事業に必安は落	· 金	施策の成果指標又はムトス 指標	居住の満足度
この事務事業は施策の目的達成にどのよ	4年間り返り	の振	市営	含墓地を希望す	rる方の墓地整(備ができ、市民に多	テ心感を 与	ラえられ生活基	盤が整った。
きに貢献しましたか	後期にけた記	こ向	西音る。	『霊園について	ては、造成した聖	2地を遊ばせないよ	うに年1[回の募集ではた	¢く、随時必要な方への募集をかける等検討が必要であ
この事務事業 の成果を向上 させるためにど	4年間り返り	の振				F30区画の造成がi	計画的に	できた。	
のような工夫を してきましたか		こ向 果題			限の区画をして	てきた。			
コストを削減す るためにどの	4年間り返り	の振			部へ依頼した。				
ような工夫をし てきましたか	後期にけた記	こ向 課題				Sに設計・監理を依頼			
受益者負担の 程度、市が関	4年間 り返り	の振	墓地	也事業特別会請	汁で運営している	る。使用料・管理料	で運営を	·しているため、	市の関与は適切である。
与する程度は 適切でしたか	後期にけた記								
多様な主体の役割 発揮状況 ①その主体は誰 どのような役割を たしましたか。	で、 ・果			也の整備に対し ∵考える必用が		造成するのが基本で	であるが、	西部霊園に関	して22年度末に32区画売れ残っていることは今後の造成
②その主体が役! 発揮するために、 政はどのような働 かけをしてきまし! か、又は、配慮し ましたか)	行きたった	送期に]けた !!題	広幸	限で聖地の使用	月者の募集をする	る。西部霊園につい	ハて常時	募集申込みが	できるように検討する。
今体た 温パナ	4年間り返り	の振	西音しか	『霊園について ℃、21年度に行	(は毎年30区画 合葬式墳墓を募	ivを整備して使用者 集したところ、一般	で募集を 聖地の売	した結果ほぼう これ行きが鈍っ	完売した。 た感がある。
全体を通じて	後期にけた記	に向業題	の遺検討	造成が可能なら 対する余地があ	ば る。	きたが、市の地域が	広いため	、より近くに墓	地を購入したいと言う意見がり、西部霊園以外の市営墓地
ᄀ「ᆉᅀᆙ	辛网	· F 幺士 I	ш.	の関係の確認	3				

7「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか ない 対象や意図を修正する必要はありますか ある 成果指標や指標値を修正する必要はありますか ない

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

	□完了	□拡大	□ 縮小	□別事業に統合	□ 休止廃止	▼ 現状維持	□目的見直し	▼ 事業のやり方改善